

# ブルキナファソ 2021年 活動報告



日本の皆さまからのあたたかいご協力により、ブルキナファソの子どもたちへ教育支援を届けることができました。心より御礼申し上げます。

2021年、ブルキナファソでは、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、隣国ニジェール、マリと国境を接している地域において、武装勢力の襲撃などにより、治安状況が悪化しました。2021年12月現在、157万人が国内避難を余儀なくされ、3,280校の教育施設が休校になり、51万人以上の子どもたちが教育の機会を奪われました。

こうした状況を受け、感染症対策とともに、ユニセフは学校を子どもたちが安心して学べる環境にするために、緊急事態時を想定した校内訓練の実施や心理社会的ケアの提供などの「セーフスクール」プログラムを展開するなど、学校の安全を確保するための取り組みを加速させています。

	2010年	2016年	2021年
幼稚園の就園率	2.8%	2.9%	6.2%
小学校の就学率	74.8%	86.1%	86.1%
小学校の修了率	45.8%	57.9%	62.4%
中学校の就学率	54.2%	65.7%	47.3%

※治安情勢の悪化による学校の休校などの影響により、一部地域で中学校の就学状況が後退しています。

## 「子どもにやさしい学校」で学べるように

すべての子どもたちが清潔で安心できる環境の中で、質の高い授業を受け課程を修了できるようにユニセフが開発し推進してきた「子どもにやさしい学校」モデル。子どもを第一に考えた学校であること、障がいのある子どもも含むすべての子どもが受け入れられる学校であること、学校運営に子ども自身や地域社会に参加してもらうことを目指し、ユニセフは、校舎建設や備品の提供などのハード面と、教員研修や保護者・地域社会への啓発活動などのソフト面の両面で支援しています。

### 「子どもにやさしい学校」モデルの導入

2021年は、東部、中央大地、サヘル地方において、**284校**(小学校158校、中学校126校)で新たにこのモデルが導入され、教員**1,136人**が研修を受けました。その結果、**80,351人**の子どもたちがより良い環境の中で学ぶことができるようになりました。

### 校舎の建設・備品の調達

「子どもにやさしい学校」で子どもたちが学べるように、**16校**の校舎が新たに建設され、**3,030人**の子どもたちが新しい校舎で学ぶことができるようになりました。

- 幼稚園** 3つの園舎(中央大地、北部地方)
  - 小学校** 6つの校舎(東部、中央大地、北部地方)
  - 中学校** 7つの校舎(サヘル、東部、中北部、北部、ブクル・デュ・ムウン地方)
- また、子ども用の机**2,000台**、教職員用の机と椅子**100セット**、黒板**100枚**、棚**100本**を調達しました。



新しく建設された中学校の校舎

## 子どもたちが安全な環境で学べるように

治安状況が悪化した2015年以降、学校が襲撃の標的にされるケースも発生しています。学校を安全に安心して学べる学習環境にするために、次のような取り組みを行いました。

- **792人**の教員、**319人**のPTAメンバー、**427人**のソーシャルワーカーを対象に、心理社会的ケアなどの「セーフスクール」プログラムについての研修を行いました。
- **55校**で危機管理委員会を設立しました。
- 中北部、北部、ブクル・デュ・ムウン地方の**1,840校**で、緊急事態時対応プランの作成や校内訓練を行い、**70,002人**の子どもたちが参加しました。

学校が武装集団に襲撃されたことを想定した訓練は、週2回、校内で行われています。先生が授業中に突然、笛を吹くと、子どもたちは教室の電気を消し、窓やドアを閉め、机の下に避難します。生徒のひとり、[この訓練は、私たちが危険から守るためのものです。クラスの全員がそのことを理解しています]と話します。

詳しくはこちらから <https://unicef.jp/3tnYOKr>



学校の襲撃を経験したイブラヒムさん

## すべての子どもに教育の機会を

女の子や学校に一度も通っていない子ども、中退してしまった子ども、障がいがあるのに適切な通学支援を受けられていない子どもなど、教育を受ける機会から取り残されている子どもたちのために、次のような活動を行っています。

### 教育の大切さを理解してもらうために

とくに治安状況が悪化している地域で、女子教育の大切さを理解してもらうために、コミュニティ放送や公共ラジオを通じて、地域住民**280万人**を対象に呼びかけを行いました。また、**1,480人**のコミュニティメンバーが村人に直接呼びかける啓発活動を行いました。

### 障がいのある子どもたちへ

サヘル、中東部地方で、**158人**のコミュニティメンバーが、障がいのある子どもの通学支援の研修を受けました。新たに**612人**の障がいのある子どもが小学校に入学するための支援を受け、2021年12月までに、**2,879人**の障がいのある子どもたちが継続して、通学しています。また、**901人**の教員が障がい児教育の研修を受けました。

### 女の子たちへの支援

自宅から学校が遠くても安全に通学できるように、通学用の自転車をも**1,200人**の女の子に提供しました。また、学校に通っていない**450人**の女の子が職業訓練校に通えるように支援を行いました。

17歳で女の子のお母さんでもあるソロさん。経済的理由で一度は断念した裁縫をユニセフが支援している職業訓練校で再び、学んでいます。「ここで新しい知識を身につけ、私と同じように厳しい状況にいる同じ世代の女の子たちと共に学ぶことができ、とても幸せです」と話してくれました。 <https://unicef.jp/3Mggwbr>



子どもを背負いながら授業をうけるソロさん